

平成29年1月12日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院整形外科に、人工股関節置換術後感染で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学整形外科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

人工股関節置換術後感染に対して抗生剤含有セメントによる再置換術の後向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学整形外科学講座 助教 谷口 隆哉

3. 研究の目的

人工股関節置換術後感染に対する抗生剤入りセメントによる治療効果と治療期間に影響する因子を調べます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

人工股関節置換術後感染の患者さんで、平成18年4月1日から平成25年3月31日までの期間中に、人工股関節置換術後感染に対して抗生剤入りセメントの治療を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、手術時体重・身長、起因菌、合併症の有無、瘻孔の有無、手術前血液検査データ、使用薬剤、抗生剤入りセメントスペーサー留置期間に関する情報です。

(3) 方法

患者さまの抗生剤入りセメントスペーサー留置期間の平均値を算出し、留置期間に影響する因子を統計学的解析(T検定、 χ^2 検定)を用いて解析します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学整形外科学講座 担当医師 谷口 隆哉

TEL : 073-441-0645 FAX : 073-448-3008 E-mail : t-takaya@wakayama-med. ac. jp